

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年4月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	令和7年3月10日		～ 令和7年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月30日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが自己選択及び自己決定する力を育てるための支援を行っている。	宿題、おやつ、活動などその日にすること・しないこと、その内容等を自分で選べるように、一緒に予定を確認したり提案したりしている	子どもの主体性を尊重し、自発行動を促すような関わりと支援を行ってまいります。
2	安心感をもってお子様にご利用いただけていること。	職員や児童同士で交流をもつ時間を大切にしており、人と関わる楽しさや安心感を得られるよう職員が一丸となって努めています。	子どもたち一人ひとりの考え方や感じ方を職員が理解して関わりをもつことで、よりお子様が安心して利用できる様に努めていきます。
3	教室内やトイレなどの衛生管理を徹底している。	毎日の掃除や消毒を行っている。また絵本や玩具などは定物定位置を心がけて整理整頓を行っている。	子どもたちが自ら玩具を片付けられる、わかりやすい環境を整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害対応マニュアル、事故防止マニュアルなどの安全に関する訓練実施が保護者様へ周知できていないという現状があります。	訓練を実施した際、消防などへは報告を行っていますが、保護者様へ報告が行われていませんでした。	訓練を行った際に利用者様の連絡ノートに記載する等、タイムリーに保護者様へ報告する体制を構築してまいります。
2	ご家族に対してペアレントトレーニングや保護者間の交流・研修会ができていない。	交流を希望されない希望されない保護者様もおり、保護者研修会の開催に職員が消極的になっている。	保護者様に対してペアレントトレーニングの効果・やり方の説明を丁寧に行い、研修会への理周知を図ってまいります。
3	定員の枠が埋まってしまっていて希望通りの利用ができない	退所される方が少ないため、新規で利用を希望される方にも多くお待ちいただいている。また、ご利用中の方に関しても利用日の増加をご希望いただいている方が多い。	卒業や転居などで枠に空きができれば、なるべく多くの方にご利用いただけるようお声をかけを行っていく。